

開催
決定!

Build Live CHIBA 2012

勉強会 2012/8/6

勉強会

アジェンダ

- 開催概要
- モデルデータの利用方法
- 指定IFCデータの作成方法
- ソーシャル活用について

開催概要

- 実施スケジュール
- 開催概要

スケジュール概要

7月
8月

- 開催告知
- 勉強会(8月6日)
- 徐々に条件提示

9月
10月

- 参加、見学登録(9月開始)
- 最終条件提示 / Build Live実施
- 審査会
- 表彰式 - Archi Future 2012(10月25日)

以降

- 作品集編纂
- まとめシンポジウム

実施スケジュール



実施スケジュール



実施スケジュール



事後提出書類 〆切

ドキュメントレポート
省エネレポート

AF
2012

Archi
Future
2012

その後のスケジュール

2012 年
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2013 年
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

AF2012

まとめシンポジウム
開催
作品集の編纂
(予定)

開催概要

アジェンダ

- 実施スケジュール
- 開催概要

開催趣旨

- BLxは、48時間など限られた時間内で、建築プロジェクトの課題に取り組む参加・体験型のイベント
- イベントの原点は、米国Kimon Onuma氏が提唱し欧米を中心に2007年から各国で頻繁に開催されているBIM Storm
- インターネットや3D-CADなど進歩したITの成果を建築プロジェクトに活かし、従来の常識を超えて行くプロセスを参加者自らが体験する。

期待効果

- 組織におけるBIMの認知度、理解度の向上
- BIMへの取り組みを広く社会に示す宣伝効果
- BIM運用による効果および課題の発見
- 従来の建築プロジェクトの常識を超えるIT活用
- BIMによる建設プロジェクト推進手法を体験
- 組織内からBIM適任者を発見

参加資格

- Build Liveの開催趣旨に賛同し、競技に参加いただけるチーム、個人
- アドホックなチームによる参加も可能
- 所定の参加手続きを行う(9月上旬)
- ブロードバンドのインターネット接続が必要
- Facebookアカウントが必要
- 参加、登録は無料

クラス

– 参加者は以下のいずれかのクラスにエントリーする

- 実務クラス: 実務者を想定した制限のないクラス
実際の法規、開発要件等を踏まえた取り組みとする
- 学生クラス: 学生を対象としたクラス
法規制等を減免した条件で、自在な取り組みとする
先生の協力、サービスプロバイダの利用は可能

審査員

- 松家克氏 ARX 建築研究所 代表
- 渡辺仁史氏 早稲田大学
- 山梨知彦氏 日建設計 執行役員 設計担当プリンシパル
- 豊田啓介氏 NOIZ パートナー
台湾国立交通大学建築研究所助理教授
東京藝術大学芸術情報センター非常勤講師
- IAI日本 各分科会

評価基準

- 審査団による審査方針書を事前公開
- IAI日本による審査方針は本日説明
 - ・「IFCの使いこなしを高める課題」への適切に対処
- 他の参加チームによる投票
- これまでの参加経験を踏まえた評価
- 見学者による投票

IAIのアワード

• 技術評価によるアワードの事例

•3Dチャレンジ賞

パフォーマンス賞

IFCデータ連携賞

•エンジニアリング賞

BIMテクノロジー賞

•環境設計賞

デザインイノベーション賞

エンジニアリング賞

IFCデータ連携賞

BIM設計賞

BIMリーダー賞

課題内容

– クラス共通の課題

- 審査員による審査方針に沿った取り組み
- IAI日本によるIFC活用の技術的な取り組み

– 課題は公式Blogで順次公開

<http://blchiba2012.seesaa.net/>

– Build Live開始時刻に最終的な設計条件を公式Blogに掲載

勉強会

– 勉強会で説明する内容

- IAIが提供するIFC土地データの扱い方
- IAIが要求する提出IFC仕様のデータ、作成方法
- CADの操作方法、サービスプロバイダの説明

– 勉強会の内容は、公式Blogで公開

- 来場できない参加者のためにBlog、Youtube等で公開
- Facebookに事前勉強のためのコミュニティを準備

提出物

- Build Live開催前に提出
- Build Live実施中にアップロード
- Build Live終了後に提出

提出物

- Build Live開催前に提出いただくデータ
 - ・ チーム紹介、予定している取り組みなど
- Build Live実施中にアップロードするデータ
 - ・ 中間成果物

提出物

- Build Live終了時にアップロードするデータ
 - 指定時間までにアップロードを完了
 - 評価用の指定の成果物
- Build Live終了後の提出物
 - ドキュメントレポート:実施したプロセスの記録
 - 省エネ報告書:省エネの取り組みについてのレポート

提出物/データ共有サーバ

- IAI日本は、データ共有サーバのフォルダを各参加者に割り当てます
各参加者は、割り当てられた領域に、提出物をアップロードします
- データ共有サーバは見学者や他チームも参照できます。

データ共有サーバ

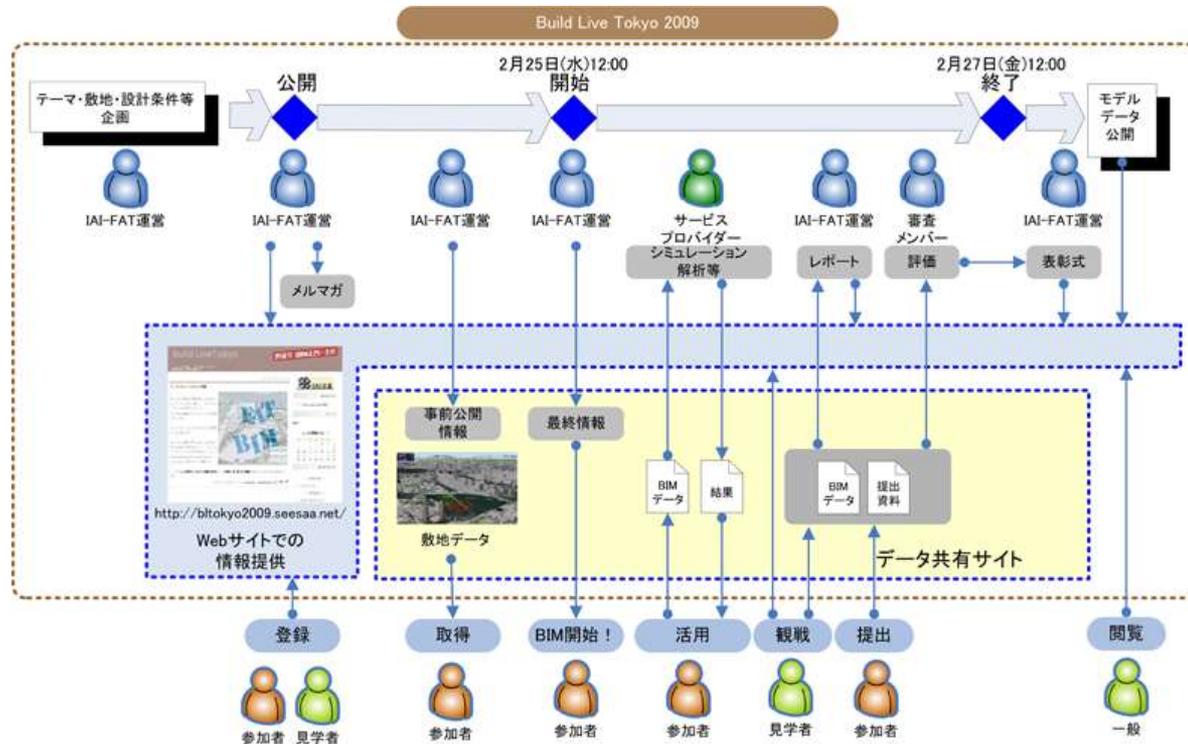
- 大塚商会様から提供いただいたASPサービスαオフィスを使用
- 各チームに専用の、IDとPasswordを付与
- 見学者にも参照用IDを付与



審査手順

- 事前アンケートやドキュメントレポートを参考に、データ共有サーバにアップロードされたデータをIAI日本が審査
- 評価用として提出いただいた提出物を、審査員が審査
- Archi Future 2012 会場(10/25開催)にて、審査結果発表及び受賞者プレゼンテーション

競技の進み方



サービスプロバイダ

- BIMを活用したシミュレーション・解析ツールなどをサービスとして提供
- サービスプロバイダーがシミュレーションツールへ渡すBIMデータのノウハウの説明などは、facebook上で議論します(予定)
- 事前調整すれば競技中に、参加チームがBIMモデル解析を体験可能

終了後に依頼すること

- 参加に対するアンケート
- まとめシンポジウム
受賞者にはパネリストを要請し、シンポジウム用の発表資料の作成を依頼します。日程は未定
- Build Liveの作品集作成の際に執筆などを依頼
- IAIによる提出データ分析を行います。分析の際の問い合わせへの回答

広報活用

- Blogのアクセス記録などによると、Build Live開催時は見学者を始め多くの方がこのイベントに注目しています
- チーム紹介をBlogで公開します
- 実施中は、Twitter、メールなどで実況をリアルタイムに公開します。主催者および公認マスコミによる取材にご協力ください
- 参加チームで自主的な広報活動を行っていただけます

提出データの活用

– IAI日本による提出データ活用

- データは、IAI日本が調査、研究、広報、宣伝に限り、制限なく、無償で使用できるものとします

– 参加チーム、見学者等による提出データ活用

- 他のチームのデータの利用は、商業目的、誹謗中傷に類する目的での使用を禁止します。また、他のチーム成果物を引用する場合、出典情報を明記してください

参加登録をお待ちしています



- 開催内容を順次公開中
- 参加登録を9月上旬から開始